

第 60 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第60回日本神経学会学術大会
大会長 楠 進

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2019年5月22日（水）～25日（土）
「水の都から臨床神経学の大海原を目指して」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：大阪国際会議場
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL: 06-4803-5555
リーガロイヤルホテル大阪
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68
TEL: 06-6448-1121 FAX: 06-6448-4414
3. 演題募集期間：2018年10月1日（月）正午～11月25日（日）17:00
※学会事務局の問い合わせ対応時間は、平日10:00～17:00です。
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。
※医学生・初期研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。
※演題登録に関する詳細は、追って大会ウェブサイト「演題募集」に掲載いたします。
(<https://www.neurology-jp.org/neuro2019/>)
4. 事前参加登録：
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
※日本神経学会第13回専門医育成教育セミナー、第16回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、
第6回メディカルスタッフ教育セミナー、教育コースもオンラインによる事前登録制とする予定です。
※詳細は、追って大会ウェブサイトでご案内いたします。(<https://www.neurology-jp.org/neuro2019/>)
5. お問い合わせ
【大会長校事務局】
近畿大学医学部神経内科学教室
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
【日本神経学会事務局】
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階
TEL : 03-3815-1080 FAX : 03-3815-1931
【第60回学術大会運営事務局】
第60回日本神経学会学術大会運営事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 株式会社コンベンションリンケージ内
TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693
E-mail : neuro2019 @ c-linkage.co.jp

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2018年10月1日（月）正午～11月25日（日）17:00
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
3. 演題要旨作成時の注意
 - (1) 演題の制限：1演者につき1題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。一施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
 - (2) ご登録いただく項目
 - ◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）
 - ※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定です。
 - ◎発表形式区分：口演もしくはポスターより選択
 - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は20名以内
 - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は10機関以内
 - ◎演題名（日英）：日本語は全角40文字以内、英語は半角100文字以内
 - ◎演題抄録：
 - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによる言語指定あり）
 - ・日本語は全角800文字以内、英語は半角1,600文字以内とします。
 - ・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行をしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
 - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
 - (3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会 HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の1週間前までに、入会手続き（入会申込書の送付、年会費の支払い）をお済ませください。演題登録締切の1週間前（2018年11月18日（日））までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。

日本神経学会事務局

 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階
 TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931
 （受付時間：平日10:00～17:00）
 - (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針（臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」(https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf) をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。
 - (5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です。（同一抄録は不可）
 - (6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。
 - (7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。
 - (8) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。
 - (9) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。

- (10) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (11) 演題登録締切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (12) 第60回日本神経学会学術大会最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後15年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。
- (13) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。プログラム・抄録集の“抄録集”部分が「臨床神経学サプリメント号」として認定されております。掲載ページには「臨床神経学 59 巻サプリメント号 S-〇〇」という頁数が付与されます。
尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。

4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と略す）」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「利益相反に関する倫理綱領等」内、「別紙様式3」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI 提出締切：2018 年 12 月 7 日（金）必着

COI 自己申告書付送先

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階

TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931

E-mail：jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2019 年 2 月中旬頃より当サイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USB メモリーまたは CD-R）での持ち込みです。但し動画がある場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (6) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。

- (7) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表 10 分+質疑応答 5 分を予定しています。(プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください)

7. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦 210 cm×横 90 cm の予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で 20 cm×70 cm 枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は 2~3 m 離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が 20 cm 以上の大きさとタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 動画 URL の QR コードを提示したい場合は、ご自身で QR コードをご作成の上、ポスター内に印刷、または貼付してください。
※ 57, 59 回大会時のように、演題登録時に申請、事務局にて QR コードの作成、貼付するサービスは、本大会では行いませんので、ご了承ください。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は、会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (8) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表 5 分+質疑応答 1 分、総合討論 30 分を予定しています。(プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください)

8. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50 音順・敬称略)

阿部 康二 宇川 義一 梶 龍兒 加世田ゆみ子 楠 進 佐々木秀直
下濱 俊 高橋 良輔 戸田 達史 服部 信孝

9. 第 60 回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50 音順・敬称略)

飯嶋 陸 池内 健 池田 昭夫 池田 佳生 石川 欽也 伊東 秀文
井上 治久 今井 富裕 岩坪 威 漆谷 真 大槻 美佳 岡澤 均
荻野美恵子 小野寺 理 海田 賢一 勝野 雅央 河内 泉 菊地 誠志
木下 彩栄 木村 和美 小池 春樹 小森 哲夫 古和 久朋 佐光 亘
清水 潤 清水 利彦 東海林幹夫 関島 良樹 園生 雅弘 高嶋 博
高橋 一司 高橋 正紀 竹島多賀夫 武田 篤 立花 直子 田中 章景
寺尾 安生 寺田 清人 徳田 隆彦 戸田 達史 豊田 一則 中島 一郎
中島 孝 長峯 隆 西岡 健弥 長谷川隆文 花川 隆 花島 律子
等 誠司 深浦 彦彰 三澤 園子 水野 敏樹 三原 雅史 宮嶋 裕明
宮本 雅之 村井 弘之 村山 繁雄 目崎 高広 森田 昭彦 山崎 亮
山下 徹 雪竹 基弘 横田 隆徳 横山 和正 米田 誠 若林 孝一
三井 良之 (事務局)

10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50 音順・敬称略)

青木 正志 阿部 康二 宇川 義一 北川 一夫 吉良 潤一 楠 進
古和 久典 佐々木秀直 砂田 芳秀 園生 雅弘 富本 秀和 服部 信孝
三井 良之 矢部 一郎 山下 徹

各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演（5月23日（木）午後 予定）
楠 進（近畿大学医学部神経内科教授）
2. Plenary Lecture（5月23日（木）午前 予定） ☒
Angela Vincent（Oxford University, UK）
「Antibody-mediated neurological diseases (tentative)」
3. Semi-Plenary Lecture（5月24日（金）午後 予定） ☒
Brian G. Weinshenker（Department of Neurology, College of Medicine, Mayo Clinic, USA）
「The evolution of the concept of transverse myelitis」
4. 特別講演
熊井 英水（近畿大学水産研究所名誉教授）
「近大マグロ（仮題）」
5. 特別講演
辻 省次（東京大学名誉教授, 国際医療福祉大学ゲノム医学研究所長）
6. 特別講演
岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室教授）

以上